

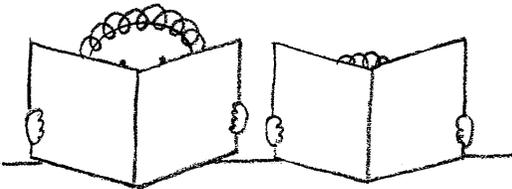
夏休みには  
図書館で  
調べる学習!

その3

# 人の意見 と 自分の考え

取材・構成 〓  
山田万知代(編集部)

参考文献は  
なぜ  
書かないと  
いけないの?





「図書館を使った調べる学習コンクール」では、「図書館を使ってください」ということと同時に、「調べたときに利用した資料名を必ず書いてください」と

応募される皆さんにお願いしています。たくさんのお本を少しずつ使った上に、本の題名その他いろいろ

書かなくてはいけないというのは、ちよつとたいへんです。

しかし、これには、大切な意味があります。

「レポート・論文作成のための引用・

参考文献の書き方」の著者・藤田節子さん

（図書館の学校理事・コンクール審査委員）に、

引用・参考文献の意味と、書き方について

小・中学生向きにお話をお聞きしました。

私は、このコンクールの審査をして3年目、こ

れまで小学生、中学生の作品を審査し、最終審査会でほかの委員皆さんの話も聞いてきました。

どの部門でも共通して議論になることのひとつに、引用のしかたや参考文献の書き方の問題があります。

「これ、すごく良いテーマだね」「よく調べている」と興味深く読み進んだ作品でも、参考文献が付けられていなかったり、引用のしかたが正しくないことがあると、審査の途中で落とさなくてはなりません。

もちろん、発達段階に応じて、小学校低学年ならこのくらいでも仕方ないかな、中学生になったらここまでは書いて欲しい、といったことはあります。しかし、基本的なことは、どの年齢でも同じです。

「参考文献リスト」「引用」というと、大学生が論文を書くときの用語のようで、難しく感じてしまうかもしれません。しかし、その根本にあるものは、基本的な人としてのマナーとルールの問題です。社会のルールには、必ず意味があります。それは、小さいうちから徐々に慣れて、おぼえていかななくてはなりません。

藤田節子（ふじたせつこ）

NPO図書館の学校理事。専門図書館データベース企業等を経て現在川村学園女子大学教育学部教授。著書に『データベース設計入門』『新訂図書館活用術』『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』（日外アソシエーツ）、『自分でできる情報探索』『キーワード検索がわかる』（ちくま新書）他多数。

#### 用語解説

##### 【引用】

自分の説のよりどころとして他の文章や事例または古人の語を引くこと

##### 【参考】

てらしあわせて考えること。自分の考えややり方を決める手がかりとすること。また、その材料。

新村出編『広辞苑』第6版、岩波書店、2008より

なぜ、使った本の  
題名などを書かないと  
いけないのでしょうか。

「調べる学習」とは、あるテーマについて、自分がどのように調べ、どのように考えたか、その自分の意見をまとめて人に伝えるものです。

「自分の意見をまとめる」ということにあたっては、自分の頭のなかだけでは考えられません。どんなにすぐれた学者の理論でも、その人の前には、誰か——、先に考えたり調べたり、実験したりした人たちが必ずいるはずで、そう、先に研究した人の意見にプラスして、自分はどう考えたか、を書くのが「調べる学習」です。

先に研究した人の意見の上に自分の意見を言う、ということですから、その先人たちに対して、敬意を表すというのは人としてのマナーだと思います。

参考文献一覧を書くのは、  
参考にさせていただき、  
ありがとう、と感謝の気持ちを  
表すものなんですね！

もうひとつ、参考文献リストは、その作品が正しいことを書いているかを読み手が判断する、目安になるんです。

読みながら、「この部分は、ほんとに正しいことを書いているの？」と思うことがあります。その場合、「この本に、こう書いてあります」と、作者が参考にしたもの、つまり参考文献の情報を見ます。

「『A』という本と一緒に、『B』の本も参考にしているんだな」

「『C』の本の作者がこう主張しているのね」

「『A』と『B』と『C』の3冊の本と、自分の行った実験結果に基づいて、作者はこう考えたんだね」と、読み手がそれを確認することができます。

ある考えにかたよった資料だけを参考にしているとしたら、この人の考えもかたよっているかもしれないな、と読む人は考えます。

書き手の意見の根拠になるものは  
この本と、この本と、この新聞記事…、  
と、読む人が確認できる。  
それが参考文献リストなんですね！



大久保 徳之新  
 (文京区立明化小学校6年)  
 『乗り物酔い克服大作戦!』の  
 参考文献リスト(一部)

著者名	項目名	書名	出版社	出版年	ページ	図書館名と請求記号
坂に必要なのは	加藤の食・住	どろろ出版	2006年	P208 P307	大塚区立明化小学校 R45.7	
松村勇編	酔う	大辞林	三省堂	1986年	P2479	大塚区立明化小学校 R413
吉田隆子	乗り物酔い	いびきという病の症状別 70272621-50	明文書院	1978年	P40	大塚区立明化小学校 R477
	加速度	世界大百科事典 5	平凡社	1988年	P351	大塚区立明化小学校 R031
	船酔い	世界大百科事典 29	平凡社	1988年	P24 P27	大塚区立明化小学校 R031
	平衡 感覚	世界大百科事典 25	平凡社	1986年	P22 P23	大塚区立明化小学校 R031
	耳	世界大百科事典 27	平凡社	1986年	P2 P3	大塚区立明化小学校 R031
	加速度病	日本百科全書 5	小学館	1985年	P324	大塚区立明化小学校 R031
	平衡 感覚	日本百科全書 20	小学館	1985年	P865	大塚区立明化小学校 R031
	耳	日本百科全書 22	小学館	1985年	P435	大塚区立明化小学校 R031

いつの情報を根拠に  
 しているか。それによって、  
 その作品の言っていることが  
 正しいか判断できる  
 こともある!

あとあと、  
 研究をする人にとって、  
 資料を探す道しるべになる。  
 これも参考文献リストの  
 大事な役目!

著者名や書名、出版年といった出典を正確に  
 書くことも、とても大切です。  
 出版年とは、その情報がつくられたのはいつ  
 か、を表す数字です。古い本で調べる価値がある  
 テーマもありますが、できるだけ新しい情報で  
 調べないと意味がないテーマもあります。たとえ  
 ば、法律などは、改正されて変わっていることが  
 あります。古い法律をもとにして書いては、その  
 意見は間違っています。  
 また新聞記事や雑誌記事は、いつの記事かが  
 わからないと、後で探すことができません。  
 さらに、インターネットの情報は、いつ発信さ  
 れたかがとても重要です。同じホームページが、  
 後で書き換えられて、まったく違う内容になっ  
 てしまうこともあるからです。

あるいは、この作品をもとにして、別の人が、  
 このテーマを調べてみようと思うこともあるか  
 もしれません。例えば、第13回で受賞した作品  
 『乗り物酔い克服大作戦!』を読んで、「乗り物酔  
 い」を違った角度から研究しよう、という人が後  
 から出てきたような場合もあるでしょう。  
 その人は、「乗り物酔い克服大作戦!」に付け  
 られた参考文献リストを元に、図書館で資料を  
 探して、それをまず読もうとするでしょう。図書  
 館で本を探すとき、本の題名が間違っていたら、  
 その人は、本にたどりつくことができません。  
 同じ名前の本があることもあるので、そのとき  
 は、著者名や出版社名などで判断をして探して  
 いくこととなります。(世の中には、同じ名前の  
 本がたくさんあることがありますからね!)

なにを  
どのように書けば  
いいのですか？

## 本の場合

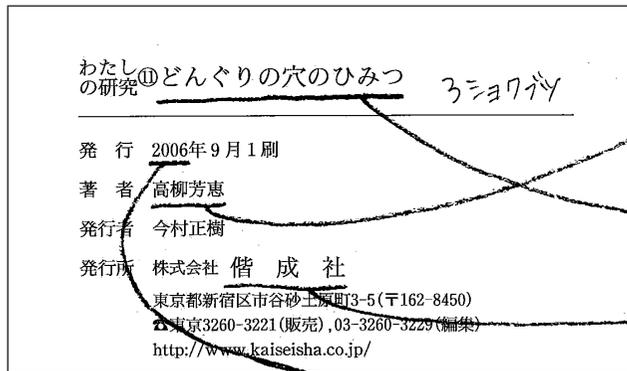
本の、最後のあたり（裏表紙の前、最後のページの後）に、本をつくった人や団体のことを書いたページがあります。

これを「<sup>おくづけ</sup>奥付」といいます。

そのほか、表紙や、本文の前にあるページ（標題紙といいますが）も、参考にします。



最後のページを開くと……  
「奥付」のページがあります。



① 著者名(書いた人の名前)

② 書名(本の名前)

③ 出版社名

④ 出版年

図書館に本を返す前に、  
必要な本の「奥付」をコピーして  
おくといいですね。

著者名	書名	出版社名	出版年	図書館名と請求記号
高柳芳恵	どんぐりの穴のひみつ	偕成社	2006	文京区立O△ 図書館 3ショクブイ

このコンクールでは、使った  
図書館名と、請求記号も、  
できるだけ書いてください、  
としています。

## 新聞の場合

- ① 記事を書いた人の名前
- ② 新聞記事名
- ③ 新聞紙名
- ④ 記事の出た年月日
- ⑤ 朝刊か夕刊か
- ⑥ ページ



この辺りに  
出ています

記事を書いた人の名前	新聞記事名	新聞紙名	出版年月日	朝夕刊	ページ
	はやぶさのカプセル回収	朝日新聞	2010年 6月15日	朝刊	38ページ

記事の最後に  
書いていない  
場合は空欄

## Webの場合

webページを制作した人・団体名	webページ名	webサイト名	更新年月日	URL	アクセス年月日
NPO 図書館の学校	機関誌 『あうる』	NPO 図書館の学校	2010. 6.1	<a href="http://www.toshokan.or.jp/owl.html">http://www.toshokan.or.jp/owl.html</a>	2010. 6.10.

もっと詳しく知りたい人、  
高校生以上の方は、  
ぜひこちらを参照してください。

これらの参考文献リストは、図書館の学校ホームページ  
<http://www.toshokan.or.jp/shirabe-sp/s-sanko.html>  
からダウンロードしてお使いいただけます。



左：  
藤田 節子著  
『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』  
日外アソシエーツ,2009

右：  
科学技術振興機構「科学技術情報流通技術基準 (SIST)」  
の小冊子『参考文献の役割と書き方』(<http://sist-jst.jp/>  
からダウンロードができます)も参照してください。

# もっと大切なこと

ところで、参考文献一覧を書くことよりも、もっと大切なことがあります。それは、引用のしかたです。

「自分の考え」をしっかりと表すためには、「人の考え」を引用したことを明らかにして、自分の考えと他人の考えをしっかりと区別することが必要になります。

読み手が「この意見は突然書かれているけれど、何をもとにして考えたのかな?」「この文章は自分の文章なのかな?」とか「書いた本人が実験した様子は無いのに実験のことが書いてあるよ、これはどういうことだろう?」と疑問を持つ作品は、この「自分の考え」と「他人の考え」(自分が調べたことと、人が調べたこと)が、一緒にたになっっているものです。

これも難しいことのようにですが、まわりの大人が自覚をもって説明し、くりかえし訓練することで、小学生のうちから徐々に理解できるようになっていきます。

まず、「自分が書いた文章」と「他人が書いた文章」を「」などで区別しましょう。

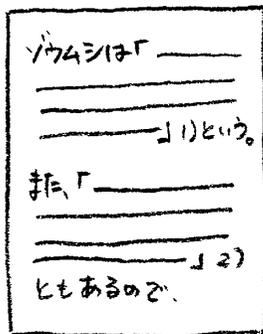
そのうえで、「この意見(データ)は、【○○】の

## 引用のしかた

ノートやカードに写す・コピーをとる



作品



No.	著者名	書名	出版社名	出版年	ページ	使った図書館名と せいぎゆう記号
1		ベスト図解百科 9	学研ネクスト	2000	p.8	豊島区立OA図書館 K03
2	高柳芳恵	どんぐりの穴のひみつ	偕成社	2006	p.34	文京区立OA図書館 37977-V

あるいは、

ゾウムシは「 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_」(ベスト図解百科、学研ネクスト、2000、p.8)という。また、  
 「 \_\_\_\_\_」  
 (高柳芳恵、どんぐりの穴のひみつ、偕成社、2006、p.34)ともあるので

のように、引用した文章や図表の近くにも書いてかまいません。

○ページに書いてありました」ということがわかるように書くことです。

作品の最後に参考文献リストをつける場合は、引用した文章の「」の最後に番号を付けておいて、引用文献の一覧と同じ番号のもとにその文献の著者名などの出典を書きます。そうすれば、引用した文章の出典がひと目でわかります。

● 私たちは社会のなかで生きていくうえで、さまざまな疑問が湧いたり、ときには困った問題が起こります。それに対してどうしたらいいか調べ、人の意見を聞いた上で、最終的には自分で考えて問題を乗り越えていかなければなりません。

人の意見もみんな同じときばかりでなく、違う意見もあるでしょう。その中で、自分の意見をしっかりと持って人に伝え、理解してもらおうようにするためには、人が納得するような根拠を示さなくてはなりません。人は、基本的には論理的、科学的な意見に納得するわけですから。

調べる学習は、このような、人が社会のなかで生きていくための基本を学ぶものだが、と私は思っています。

ですから、読む人が納得できる調べ方、伝え方を、「調べる学習」を通して、小学生から大人の方まで、皆さんに知っていただきたいと思います。

## コピーして使える参考文献リスト

必要に応じ拡大コピーしてお使いください。

または図書館の学校ホームページからダウンロードしてお使いください。

<http://www.toshokan.or.jp/shirabe-sp/s-sanko.html>

キリトリ

### 参考・引用文献リスト

(図書の一部を参考にした場合)

作品名

あなたの名前

No.	著者名	書名	出版社名	出版年	ページ	使った図書館名とせいきゅう記号